

エコアクション21

2023 年度環境経営レポート

(2023・7・1～2024・6・30)

1. 環境経営方針
2. 組織の概要
3. 認証・登録範囲
4. 環境経営目標
5. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
7. 実施体制表
8. 代表者による全体評価と見直しの結果

2024 年 9 月 1 日

株式会社 伊佐次

環境経営方針

当社は東京都足立区に立地する金属部品の製造業として、環境保全が経営の重要課題であると考え、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

当社の事業活動における環境保全活動として、行動指針を次のように定めます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が同意した事項を遵守します。
2. 次の項目について取り組み、継続的改善に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減。
 - ② 廃棄物の分別とリサイクル化の推進。
 - ③ 紙使用量の節約。
 - ④ 不良率を低減して環境への負荷減少に努める。
 - ⑤ グリーン購入に努めます。
3. 当社のために働くすべての従業員にこの環境方針を周知します。

2019年8月1日

代表取締役社長

伊佐次 茂伸

2. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 伊佐次
代表取締役社長 伊佐次 茂伸

2) 所在地

〒120-0022 東京都足立区柳原 1-36-13

3) 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者 伊佐次 茂伸
担当者 同上
連絡先 電話 03-3870-6364 FAX 03-3870-5079
e-mail s@isaji.co.jp

4) 事業活動の概要

金属・加工金属製品等製造業 (ばねの製造業)

5) 事業の規模

従業員数(人)	11
延床面積(m ²)	250

3. 認証対象・登録範囲

・当社は全組織・全活動を対象としています。

4. 環境経営目標

環境目標	基準	2023 年度 目標	中長期目標		
	(通年)	2023 年 7 月～ 2024 年 6 月	2024 年 (通年)	2025 年 (通年)	2026 年 (通年)
1、二酸化 炭素の削減 k g - C O 2	電力+ガソ リン 23282	3%削減 22583	3%削減 22583	3%削減 22583	3%削減 22583
① 電力使用 量削減	42507kWh	3%削減 41232kWh	3%削減 41232kWh	3%削減 41232kwh	3%削減 41232kwh
② ガソリン 使用量削減	1779L	3%削減 1726L	3%削減 1726L	3%削減 1726L	3%削減 1726L
2、廃棄物排 出量削減 一般廃棄物 (可燃ごみ)	120 k g	3%削減 116 k g	3%削減 116 k g	3%削減 116 k g	3%削減 116 k g
3 コピー紙 の利用量の 削減	19573 枚	5 %削減 18594 枚	5%削減 18594 枚	5%削減 18594 枚	5%削減 18594 枚
5 不良率の 低下		1 件以下	1 件以下	1 件以下	1 件以下

なお、水使用量は生活用水が主であり、使用量も少ないため、目標設定はしていない。
ただし、節水活動は実施している。

「購入電力の排出係数:0.474」

- ・ コピー用紙の利用量基準は 18 年 19 年 20 年度のアベレージにしました。
- ・ 電気使用量基準年は 21 年 22 年 23 年のアベレージにしました。 2024/07/01

5. 主要な環境活経営計画の内容と取組結果の評価

主要な環境経営計画の内容	取組み結果の評価			
	目標	実績	達成区分	取組結果の評価・次年度の取組み
1. 二酸化炭素排出量の削減 ・ 未使用時の電気消灯 ・ 空調の温度管理 ・ アイドリング stop ・ 電力+ガソリン	3%削減 23282 k g - C O 2	24554 k g - C O 2	×	・ 二酸化炭素排出・電力使用量の削減は達成できませんでした。 ・ 機械を導入した事により電力使用量が上昇したのかと思われます。(2023 年機械導入致しましたので、電気使用量を把握し注視していきたいです。) ・ ガソリン使用量は今後も把握し継続していきたい。 社員一丸となり無駄の削減に努めたい。
① 二酸化炭素排出量 電力+ガソリン+灯油	—	25244 k g - C O 2		
② 電力使用量削減	41232kWh	45190KWh	×	
③ ガソリン使用量削減	1726L	1351L	○	
2. 廃棄物の現状把握 ①金属屑、廃棄機械 研削粉 ②可燃ごみ	 116 k g	(571 kg) 71 k g	— ○	① の金属廃棄物は有償売却につき、廃棄物ではないので、目標から外した。 事業系一般廃棄物の可燃ごみは目標達成出来ましたので、このまま遂行していきたいです。
3. コピー紙の利用量の削減 ・ ファックスの電子化 ・ コピー紙の再利用	5%削減 18594 枚	22774 枚	×	・ 目標達成できませんでした。 ファックスの電子化を進めて行きたい。検査成績書等の紙媒体から電子化に目を向けていきたい。
5. 不良率の低下	1 件以下	3 件	×	目標達成できませんでした。技術力と注意力を強化しダブルチェックの成果が見えてきているので遂行していきたいです。

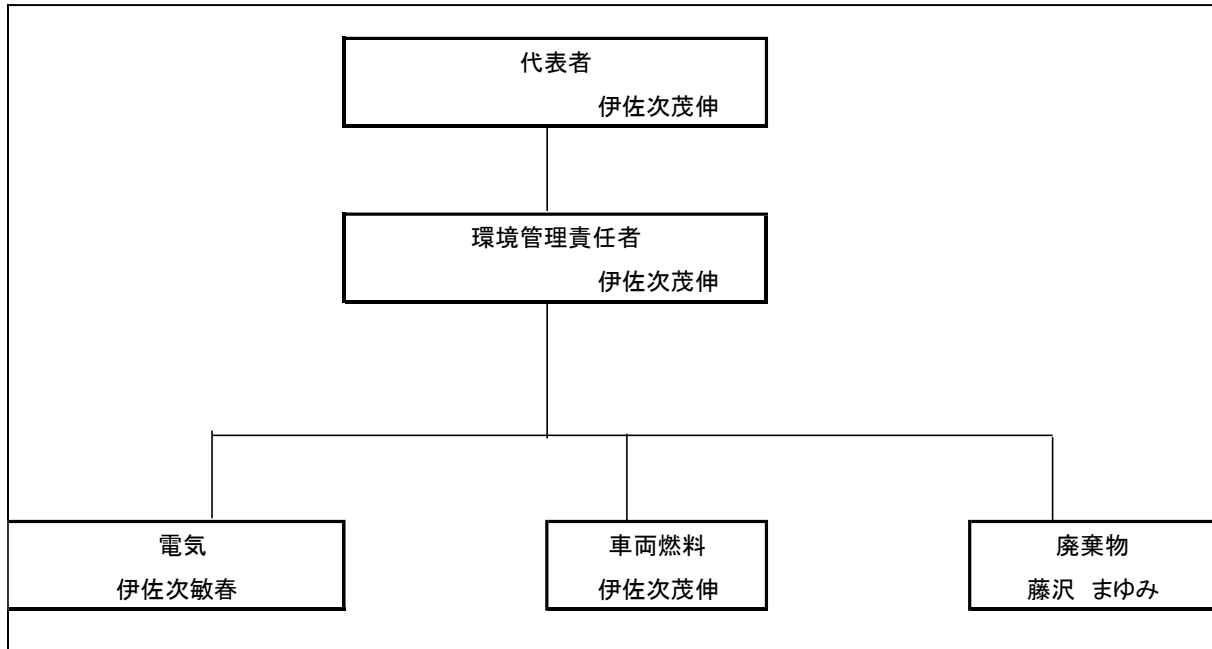
○ ; 目標達成、 × ; 目標未

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去 3 年間ありません

6. 実施体制表

製作日2019年7月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境関連法規制等の登録簿を承認 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、運用する ・環境経営計画書を作成 ・環境経営システムの構築・運用状況を代表者へ報告
各部門	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・環境目標及び環境経営計画の実施、その達成状況の報告 ・環境経営におけるチェックリストの記録・運用管理 ・自部門の問題点の発見・是正・予防処置
全従業員	・環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・環境経営システムへの自主的参加

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、提訴などの有無

No	法律・条例・その他 名称(最近の改正日)	条項	規 制 内 容	環境に関係する 機械設備・施設・作業等	当社の対応状況 (許可、届出、記録、報告等)
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		1. 産業廃棄物	金属屑、研磨粉	産業廃棄物としての発生はなし (すべて有償で売却)
		法12条の2	・保管基準(周囲に囲い、流出防止、掲示板)		
		法12条の3	・委託契約(2者契約、許可証写、最終処分)		
		法12条の3	・書類の保管は5年間(産廃マニフェスト)		
	足立区廃棄物の処理及び再利用に関する 条例36条	法36条	2. 事業系一般廃棄物	廃コピー用紙、新聞紙、可燃ごみ	区の指定日に排出
			・適正な自己処理の実施		
2	騒音規制法	法2条	1. 特定施設		
			・送風機(7.5KW以上)	・集じん機 2.2kw	該当せず・自主的にチェック
3	東京都環境確保条例	54条	1.アイドリングストップ	自家用車(営業用)	実施、自主的にチェック
		81~90条	2.工場・指定作業に関する規則	・2. 2kw以上の集塵機	届出済み
4	消防法		1. 危険物(指定数量以上)の規制	製品防錆油アンチラスト使用	指定数量1/5以下で該当せず
		法11条	・貯蔵・取扱・施設の許可・届出	保管量は最大40L	自主的にチェック
		法13条	・危険物保安監督者選任		
		法別表1	・第4類第1石油類:200L、ガソリン		
	危険物の規制に関する政令		アルコール類:400L、IPA		
			第2石油類:1000L、軽油、灯油		
			第3石油類:2000L、重油		
			第4石油類:6000L、ギア・シリンダー油		
5	フロン排出量抑制法	法5条	1.第1種特定製品の定期点検	業務用エアコン	業務用エアコンの簡易定期点検
			・点検記録・記録の保存		
6	家電リサイクル法	第6条	・特定家庭用機器をなるべく長期間使用		エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、 洗濯機・衣類乾燥機
			・再商品化に必要な料金の支払い		

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

各担当者より 2023 年度の E A 2 1 の 7 月から 6 月の実施計画実施状況の説明があり、その後討議。その結果を踏まえ社長より 2024 年度の推進に向けての評価と見直しのコメントがあった。

(1) 二酸化炭素排出量は達成できませんでした。

生産設備を導入し電気使用量が増えたと思われます電力使用量を注視して削減に努めていきたいです。8 月 9 月 2 月の電力使用量の削減に努めたていきたい。

(2) 金属屑・廃棄機械・廃棄材料 571 kg 出ているのが売上げ等の問題もありますので注視していきたいです。

(3) コピー紙の削減は目標未達成出でした。ファックスから電子化にも目を向けて行動が来ていますが紙媒体での書類等が増えたのが未達成になったと思われます。

(4) グリーン購入は意識して購入できています。

(5) 不良件数は達成できませんでした。技術力と注意力を磨き対応していきたいです。

以上